

在京飯田高校同窓会定期総会・幹事団顛末記

「SAIKAI」

しました

市瀬誠一 (高37回)

偶然の再会

卒業以来、私個人は飯田高校の同窓会との繋がりが途絶えていました。ところが、2016年、参加した子供の高校入学式で偶然に飯田高校の同級生だった大平昭夫君（昨年の同窓会総会では議長）ご夫婦に再会しました。子供同士が同クラスという縁で交流が続き、やがて大平君の誘いで高37回生在京有志の飲み会（通称「横浜会」）に参加することになります。その時にいた大久保武彦君や我那覇美知佳さん（共に同副幹事）から、私たち高37回生が主幹事学年として携わる同窓会総会が数年後に催されることを聞かされました。

みやましい総会やるに！

コロナが拡がった2020年、その横浜会はオンラ



●いちのせしげかず
飯田市龍江出身。金沢大学法学部卒業後、在京の商社に就職。その後米国10年、中国3年の通算13年に亘る海外駐在を経て帰国。現在ヘルスケア関連商社代表。趣味は下手なゴルフと海外駐在中に暇つぶしで始めたランニング。

イン版となって継続されました。同窓会総会を念頭に、テーマは大久保君が提唱した「みやましい総会やるに！」。毎月のオンライン飲み会は、忘却の彼方だった高校時代の出来事の一つひとつ思い出す機会になりました。そして足掛け2年ほどに亘ってオンライン飲み会を重ねる中で、徐々に私たちの間で幹事学年としての覚悟が固まっていきました。

高37回生は出生数が少なかった丙午（ひのえうま）生まれの人が多いのですが、有難いことにタレント溢れるメンバーに恵まれていました。講演会の演者は、福島直樹君（就職採用コンサルタント）と龍口知子さん（管理栄養士・タニタヘルスリンク勤務）の2人のプロが、二つ返事で引き受けてくれました。司会進行役は、西村容子さん（在飯田のプロアナウンサー）が出張してくれることになり、更に副幹事として丸山百合さん（総

（台事務局担当）と中田忠興君（撮影オンライン配信担当）
が加わってくれました。

残念ながら、コロナの収束は22年春になっても見通す
ことが出来ませんでした。最終的には会場に集まって
開催するものの懇親会は無しとし、更にリモートでも
参加いただけるようにオンライン配信とのハイブリッ
ドで執り行う形式になりました。現地参加を頂いた皆
さんには、記念クリ

アファイル（風越山
の背景に校歌の書を
載せたデザイン）を
お渡しすることにし
ました。

ぶつつけ本番

開催当日。オンラインを含め約150名の方に参加



クリした印刷を校歌
アファイル



司会の西村さん

いただいた同窓会総会
は、和やかで安定した西
村さんの司会でスムーズ
に進行していきました。
イベントのハイライトと
なった2つの講演は、演

者の軽妙な語り口に聴講の皆さんの積極的な参加を頂
き、期待以上に盛り上がりました。

続いて、飯田高校の校内からオンライン生中継。幸い
当日は好天に恵まれ、現地の秦野高彦君（高37回）と
司会者が掛け合いをしながら、天体望遠鏡、屋上から
見える山々、100周年ピアノ、キレイに整備された
中庭から班室棟にかけてなど、懐かしいスポットを映
して頂きました。事情に依り会場リハール無しでチャ
レンジしたハイブリッド形式と生中継でしたが、若干
のトラブルをものともせず、無事にプログラムを全う
することが出来ました。

準備段階から当日の運営まで長丁場でしたが、その
間に沢山の在京高37回生の皆が携わり、一人ひとりの
役割をしっかりと果たしてくれました。そして、会場
で積極的にサポートしてくれた多くの高47回生も、
本当に頼もしく映りました。感謝！

SAIKAI

実は、本会のテーマを「SAIKAI」としていま
した。3年ぶりの対面での再会。リアル同窓会の再開。
私にとっては、冒頭の偶然の再会がもたらしてくれた
機会。少し不思議な幸運を感じたイベントでした。